

血液透析非開始／非継続の同意能力判定用 MacCAT-T 説明書

* 検査手順

1. 質問項目を読みあげて、質問をする（1回目）。
2. 答えられなかった小項目について、ヒントをだす（例：治療法の名前は？ 尿についてなにか説明はありましたか？など）。
3. 小項目1つでも答えられないところがあったら、ふたたび質問項目を読み上げて、質問する（2回目）。

* 採点基準

採点にはかなりの自由裁量がある。患者の点数を低い方にするか、高い方にするか迷うときは、高い方の点数をつけるべきである。

【理解 (U1～U4)】

- 2点：患者がその項目の内容を覚えており、それについて、かなり明確な説明ができる
1点：患者が項目の内容をある程度覚えているが、臨床家が患者から明確な説明を引き出そうと努力しても、患者の説明の理解が不確かと判断されるもの
0点：患者は、(1)その項目の内容を思い出せない、(2)明らかに不正確な説明をする、(3)臨床家が患者から明確な説明を引き出そうとしたにもかかわらず、その意味を相当、歪めているような説明をするのいずれか。

【疾患についての認識 (A1)】

- 2点：(1)患者は情報開示された疾患および情報開示されたすべてあるいはほとんどの症状が自分にあると認めている。
(2)患者は、上記のことに同意しないが、妄想的でない理由をあげることができ、論理的説明をする。
1点：(1)患者は、その疾患と症状のいくつかの兆候を示していると認めているが、その他の症状は症状であると認めていない。
(2)患者はその疾患あるいは症状の存在について同意しない、あるいは賛否相半ばしているが、その理由は曖昧で明確に表明されない。
0点：(1)患者は、自分には情報開示された疾患があることに、明らかに同意しておらず、その理由は妄想的考えに基づいている、あるいは、現実を相当歪めていて、患者の文化的あるいは宗教的背景に妥当な基盤がない他の信念に基づいている
(2)患者が、その身体症状は身体疾患や精神疾患でないならかの状況に関連していると信じている

【治療についての認識 (A2)】

- 2点：(1)患者は、その治療が少なくともいくらかの利益を生み出す可能性は認めており、その理由は妄想的考え、あるいは相当の現実的歪曲には基づいていない
(2)患者は、その治療がいくつかの利益を生み出す可能性があるとは信じていないが、妄想的ではない理由をあげ、論理的説明をする。
1点：(1)患者は、その治療がいくらかの利益を生む可能性があるとは信じている、あるいは信じていないが、その理由は曖昧か、あるいはそれが妄想的考えや相当な現実の歪曲があるためかを評価者が判断できない。
(2)その治療がいくらかの利益を生む可能性があるかどうかについて患者は、揺れている。
0点：(1)患者は、その治療が少なくともいくらかの利益を生み出す可能性は認めているが、その理由は、妄想的考え、あるいは相当な現実歪曲に基づいているように思われる。
(2)患者は、その治療が利益を生み出すと信じておらず、その理由は妄想的あるいは相当な現実歪曲であると思われる。

【治療効果の論理的思考 (R-1)】

- 2点：患者がその選択について説明する際に、少なくとも2つの特定な治療効果をあげている。
- 1点：患者がその選択について説明する際に、1つの特定な治療効果についてしか言わない。
- 0点：患者がその選択肢について説明する際に、「その選択が最善だと思う特別な理由はありませんか」とたずねても、特定の治療効果を1つも挙げない。

【比較する論理的思考 (R-2)】

- 2点：患者が、少なくとも2つの選択肢を比較するようなことを、少なくとも1つは言っており、その比較に、特定な選択肢間での、少なくとも1つの違いが含まれている。
- 1点：患者が比較をしているが、それぞれの治療効果について述べていない。たとえば「Xという治療はYという治療より良い」と言うが、なぜ、Xの方がよいのかは具体的に言うことができない。
- 0点：患者が比較しているようなことを言わない。

【結果の推測 (R-3)】

- 2点：患者が、起こりうる日常生活上の結果を少なくとも2つ挙げており、その中に、2つの質問のそれぞれについて、少なくとも1つの日常生活上の結果が含まれている
- 1点：患者が、質問のひとつについて、少なくとも1つの起こりうる日常生活上の結果をあげているが、他の質問に対しては1つも挙げていない。
- 0点：十分に促したにもかかわらず、患者が、起こりうる日常生活上の結果を、1つも挙げていない。

【論理的一貫性 (LC)】

- 2点：患者の最終選択（「選択の表明」における）が、R-1、R-2、R-3での選択について「患者が説明した患者自身の理由づけから、論理的に引き出されたものである。
- 1点：患者の最終選択（「選択の表明」における）が、R-1、R-2、R-3での選択について「患者が説明した患者自身の理由づけから、論理的に引き出されたものであるかどうか明確でない。
- 0点：患者の最終選択が、明らかに、患者が前に行った理由づけから、論理的に引き出されたものではない。

【選択の表明 (E)】

- 2点：患者が選択を表明している、あるいは、専門家が他の責任を取れる人（たとえば、親族）に選択をおこなってほしいと示唆している。
- 1点：患者が2つか3つかの選択について述べているが、揺れているようである。
- 0点：患者が選択をまったく表明していない。